

ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」

～ 夢と自信と思いやり ～

多治見市立共栄小学校 R2. 11. 30

【ウィズ・コロナの校外学習】 校長 宮地敏彦

11月には、6年生の日帰り修学旅行と5年生の社会見学を実施しました。今年度は全国的に修学旅行を中止にする学校も多い中、日帰りとはいえ、感謝なことであったと思います。道中の“3密”を避けて安全を確保するために、使用バスを通常の2倍（計4台）に増車し、バスの乗降時や各施設の出入りの際にも手指消毒を忘れません。コロナ感染防止のための行動を児童達も意識して実行していました。また、児童以上に注意を払っていたのは受け入れ側です。5年生が見学した市内のトヨタサービスセンターでは、来場前に検温をすることを求められましたし、研修会場（兼昼食会場）の座席は大ホールいっぱい



＜6年生のテーブルマナー研修＞

に机を並べて児童のソーシャルディスタンスを確保していました。もちろんそれは児童の安全確保のためですが、企業側としても「絶対に会社（工場）から感染者を出さない！」という強い決意と危機感があるからにちがいません。実際、企業をはじめ経済活動を担っている人々にとっては、コロナ感染拡大は死活問題となります。

4年生以下の学年は、4年生が「ガサガサ探検」で高田川へ、3年生は地域の「富士神陶」さんの工場へ、2年生は「校区探検」へ、1年生は共栄公園へ、それぞれ出かけていきました。ふるさと学習として見学の場を提供してくださった「富士神陶」の皆様にもいろいろとご配慮いただき本当にありがとうございました。学び方に制限のかかる現在ですが、地域の方のご協力で子どもたちが楽しく充実した学びのできることに感謝いたします。

【コロナ第三波に備える】

今年度、これから予定されている「6年生を送る会」や卒業式などの学校行事、授業の行い方などについては、文部科学省から出る最新のガイドラインと県教委の指導をもとに、常に状況を見ながら考えています。また、多治見市の校長会は市教委と連携し、学校の規模や実態は異なれども、児童生徒の安全確保を何よりも優先し、統一見解として共通行動すべきところは知恵を出し合い、連携して対応していくことを確認しています。



＜トヨタで受講する5年生＞

コロナが長期間に及んでいることで、誰しも無自覚の内に“慣れ”が生じ、危機感が失われていきます。しかし、現在は第2波を上回る感染者の増加状況で、岐阜県や多治見市も例外ではありません。感染者の増加とともに無症状者も増加していると考えられます。

共栄小学校では「コロナゼロ、いじめゼロ、ゴミゼロ 共栄小」を掲げ、今一度気持ちを引き締めて、マスク・手洗い・ディスタンス、そして鼻呼吸（免疫力向上）に取り組みます。保護者や地域の皆様の健康が守られ、家庭内感染等が発生しないことをお祈りしています。

＜保護者の皆様にお願ひ＞

- ★ これから寒さが増していきますが、暖房を使用しながら換気を実行します。常時、教室の四隅の窓を開放し空気の流れをつくります。また、休み時間には短時間ですが窓を全開にして空気を入れ換えます。したがって、子どもによっては、少し肌寒く感じる時もあるかもしれません。重ね着や厚手の生地の衣服を着るなどして体調や気温に応じて衣服を調節（脱着）する子を育てたいと思いますので、ご家庭でもご助言よろしくお願い致します。
- ★ 今後、気温が低下し空気が乾燥してくると、一般的な風邪や通常のインフルエンザなどにお子さんが罹患することも考えられます。症状からはコロナとの見分けが困難なため、**風邪症状による欠席は「出席停止」扱い**とさせていただきます。（多治見市小中学校統一対応）